

# —オチンカパ↓永山一号川(その③)—

石狩国上川郡の主要な原野の撰定は、明治二十年、道厅

殖民課の技師試補の福原鉄之輔が責任者となつて行われ、十三原野が撰定された。

北海道厅『石狩原野殖民地撰定概図』掲載地図の明治二十二年の『永山一号川』が、掲載地図の『オツチンカバ』であるので、所属する原野名の「シリ原野」について、左に掲載する。

『北海道殖民地撰定報文』に詳細が記録された。ここでは、「永山一号川」が、掲載地図の「オツチンカバ」であるので、所属する原野名の「シリ原野」について、左に掲載する。

「シリ原野」

図中の「●シリ」「●チカブ

ニ」「●ウシシベツ」等が原野名である。図中の「オツチン

カバ川」が、「永山二号川」であるので、「●シリ原野」に所属していたことが判明する。

これらの原野については、明治二十四年に発刊された、

十三原野が撰定された。

北海道厅『石狩原野殖民地撰定概図』

地味彌々肥沃トナル。字「キングシベツ」(註)流通団

さて、掲載地図の「オツチカバ川」は、その後、「永山一号川」と名称を変える。

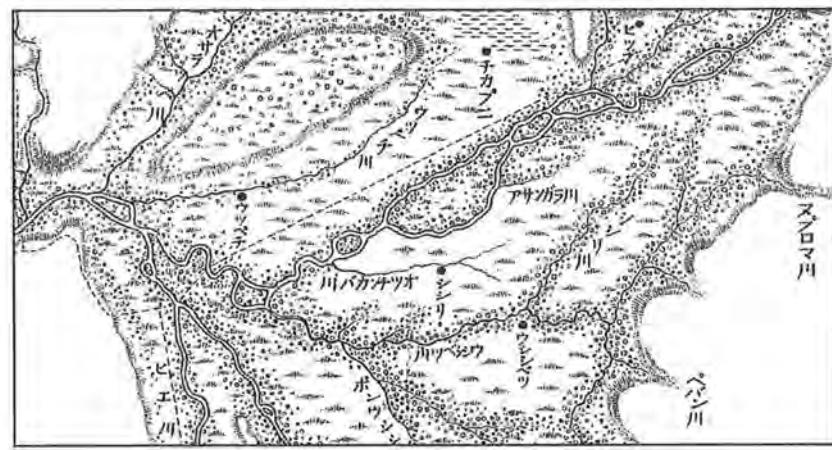
現在でも、旭川市の刊行物では、『旭川市都市計画基本図』に、「永山一号川」との記載がある。また、市販の『スープマップ』で、北海道地図などにも、「永山一号川」が描かれている。

——アイヌ語地名表示板——  
オチキンカパ  
o-chin-kapa  
熊皮を張って干す所  
ながやまいちごうかわ  
永山1号川

「熊皮を張って干す所」に書かれているが、正確には分かっていない。  
この周辺には、アイヌの人々の聚落(コタン)があった。



旭川市教育委員会



好石狩川ニ近ツク三從ヒ

明治22年、北海道厅「石狩原野殖民地撰定概図」

地名表示板のアイヌ語表示

アイヌ語地名表示板のアイヌ語地名表示

※毎月第1週号に掲載します

## 旭川のアイヌ語地名研究

(16)

高橋 基

161

高橋 基

文化四年(一八〇七年)に近藤重蔵が記録した「ヲチキンカバ」が、現在は単なる排水溝の名称「石狩川左七一号幹線」となつていて、公式名称が、「石狩川左七一号幹線」である。しかし、不幸なことに、「永山一号川」は、現在は「北海道河川一覽」にも記載がなくなり、普通河川を解除され、旭川市水道局管理の大排水溝となつていて、公式名称が、「石狩川左七一号幹線」である。

テ農耕ニ適セサルモ、其腹モ亦荻或ハ蕨ノ類ノミニシテ農耕ニ適セサルモ、其腹背兩面ニ位セル地ハ土賣良好石狩川ニ近ツク三從ヒ